

平成26年第4回明和町議会定例会一般質問事項

平成26年12月8日（月）

1 8番 今成 隆議員

1. 地方創生について

(1) 人口減少対策問題について

- ① まちの現状と課題について
- ② 今後の推移について
- ③ まち・ひと・しごと創生について
- ④ やる気・アイデア地域創生での今後の取り組みについて
- ⑤ 今後のまちのヴィジョンについて

(2) 地域創生での行政サービスについて

- ① 各課での地域創生の今後の取り組みについて

2. 役場職員の接客について

(1) 職員の接客について

- ① 職員の来庁者への対応の現状と課題について
- ② 職員の研修制度の現状と課題と評価について
- ③ 接客でのおもてなしについて

2 2番 斎藤一夫議員

1. 改善提案制度について

(1) 改善提案制度について

- ① 職員による現状の仕事状況を改善し、効率性、能率の向上のための提案制度の導入は

2. ふるさと納税について

(1) ふるさと納税について

- ① ふるさと納税の現状について
- ② ふるさと納税の増加に対する施策は

3. 町のPRについて

(1) 町のPR活動について

- ① 産業祭における状況と効果について
- ② 町外に対するPR活動状況について
- ③ 近隣市町との連携によるPRについて

4. 災害対策について

(1) 災害に対する対策について

- ① 減災運動会の実施について
- ② 災害ボランティアの現状について
- ③ 官学連携による災害ボランティア活動の推進及び本町の災害対策強化について

5. 公園について

(1) ふるさと公園の利用率について

- ① ふるさと公園の現状について
- ② ふるさと公園の利用率向上対策について

3 10番 堀口正敏議員

1. 町政運営について

(1) 新規工業団地の開発について

- ① 県企業局と町並びに町土地開発公社の役割分担について
- ② 開発工程について
- ③ 今後の土地開発公社について

(2) コンプライアンスについて

- ① 町当局の基本姿勢について
工事等の変更契約金額5%以上の公表について

(3) 地方創生について

- ① 地方創生関連法案が衆議院で可決されたが、事前準備と新事業の考えについて

4 11番 岡安敏雄議員

1. 農政改革について

- (1) 農地・水関係で、共同活動＋向上活動＋多面的機能交付金に参加している地区への交付金状況と実施された事業とその効果は。
- (2) 減反政策2018年廃止、補助金は半額とされたこのことによる耕作面積の変動は。また、米価の下落による農家所得の減収は、どの程度と想定されるか。
- (3) 「農地中間管理機構」が貸し手・借り手の希望調査をしたとの報道があったが、調査はどのように行われたのか。調査対象は。国は集積率2023年めどに80%、県は66%目標というが町の目標は。
- (4) 平成27年からゲタ対策、ナラシ対策が行われるというがどう周知するのか。また、認定農業者の基準が改定されるが町の推進方針は。
- (5) 農業委員会の改革案も出されている。選挙選任から首長選任、議会承認システムへ変えるようだが、その意義と町の対応は。

2. 教育関係について

- (1) 今年の学力調査の結果は向上改善したと聞くが、県の全国レベル値は。明和町の小中の成果と課題は。
- (2) 小中一貫教育は中一ギャップ解消や不登校対策、人間関係の継続性、いじめ防止にも役立つとも言われている。推進する考えは。
- (3) 教育委員会制度変更はどう対応するのか。また、他市町村との共同設置もできるようだが検討議論はあるのか。

3. 町道60号線について

- (1) 立体化事業の見通しは。

4. ぐんま緑の県民税について

- (1) 県が本年度導入した「ぐんま緑の県民税」を財源とした応募に29市町村177事業があったとされているが、町はどう対応したのか。

5 12番 関根慎市議員

1. 臨時職員の処遇について

- (1) 明和町職員定数と実人員・率及び臨時職員の人数と職員全体に占める率は。
- (2) 臨時職員の一般事務職と専門職の時給はいくらか。また、その額は妥当か。近隣自治体に比べてどうか。
- (3) 本年4月に県内6市で臨時職員の時給引き上げがなされたが、本町での見直しの考えは。現行賃金はいつ改定されたものか。

(4) 臨時職員への一時金の検討について。

2. 情報の伝達方法について

- (1) 現状の情報伝達手段として利用されているものは何か。また、登録者数についてはどうか。
- (2) 現在運用している伝達手段で、すべての家庭に周知できるのか。
- (3) 屋外放送廃止後の情報伝達手段としては、検討がなされているのか。
- (4) J-アラートシステムの情報を配信する研究の進捗は。
- (5) 防災ラジオの導入について。

6 1番 栗原孝夫議員

1. 未来の明和町について

- (1) 農業の活性化について
 - ① 町の農業の問題点は何か
 - ② それに対してどんな対策を考えているのか
- (2) 町の魅力を活かしたC級観光について
 - ① 現在あるものを組み合わせて価値を見出す
 - ② 古民家、農村居住型テーマパーク
- (3) 水害などの防災対策について
 - ① 宅地開発の制限とルール化
 - ② 雨水排水系統の調査と管理
 - ③ 川の水位リアルタイム観測と住民への周知
 - ④ 官民一体となった防災意識向上
- (4) 川俣駅周辺の再開発について
 - ① 駐輪、駐車場の予想される利用者数、混雑時の送迎車両数を把握しているか
 - ② 町の顔となる交流の場づくり
 - ③ 民間事業者による生活支援機能の誘致
 - ④ 歩いて周遊できる生活拠点の形成
- (5) 情報化技術（ICT）を活用した活性化
 - ① 町コミュニティサイトの構築
 - ② 高齢者へのiPad貸し出し
- (6) 人口減少対策について
 - ① 若者や子育て世代の呼び込み
 - ② タウンセールスの推進